

東大寺藥師院文書

正倉院御開封懷中之記

廿三

共卅參

特別
八4
3117
25



門八
號 3117
卷 25



正倉院御用封懐中之記

常多如之辨

正倉院御用

早稲田大学図書館
第254.19
蔵 芥

少く端りて候

い長持 法靴 他靴五 口入

乃日一 太く〜子針 百穿三

同此〜鉢 三ツ 鏡 一面

は日一 子境 七具

同鉢 普拵也 同四 三ツ

茶匙 七拵八

に日一 子拵 九拵具

円形拾九

厚日一 大小鏡 貳拾六

一長持一 其石盤 四之面 三之面

石盤 北首八拾石五 三ツ

碧翠 三之面

と 日一 茶 但元花共ト

ち 日一 丹五

り 日一 白赤毛襪 拾五

奴 日一 幕之繩 白赤入

る 日一 厚くらくふき玉入

を 日一 糸満ん襦之道入

わ 日一 志よぬい 三ツ

只内、生柄、ヒホシ有く、
て云々 唐之靴色、海邊見一

まこ 鏡 三之面

赤里 三ツ

加 日一 石之盤 但新文 五ツ

よ 長持一 石盤一

翠色 之面 鳳凰飾一

塩硝 エッセウ 之蓋 唐骨 壹

白毛纏 之敷 明七物之

少之端二階

た 長持一 茶之之之

あんちり此をわが平

丁子 之之

れ 日一 硯 之面 双六盤一

冠桶 貳 あり 六ツ

唐之茶之 唐斗 鉢三

了 日一 蓮花之座 鉢

てんぐい 三ツ

つ 長持一 茶 但え花入

細文アリ

ね 日一 法皇^一の筆 を

御杖 貳 御入^二に を

御^一り を張 まこ 三ツ

さ^一が を ひの を 茶 一

香^一 を 茶 を 箱

あ^一 を 鏡 を 一

鏡^一 を 家 七 箱 を 紋 一

花立 一 漆^一 を 桶 を

翠翹 一面

な 日一 志^一 を 物

ら 日一 赤^一 を 毛 纏 を 一

む 日一 志^一 を 物

ひい^一 を 物

う 日一 漆^一 を 物

縮^一 を 物

かゝるぬ箱は金銀を

お目一 毛襦 拾三枚

の目一 袴 袴 袴

青白赤唐紙を

杞目一 人參 下

く目一 錠入 袴

や目一 ぬす石 袴

ま目一 清左刀 拾三枚

大志やせんを法忍者

御筆を管御尺八

石之帯を箱 袴

珠を連

け目一 羽琴丸を面 琵琶二

笠を 清杖 袴

下法を箱焼物意

明相 袴

不長持一

鞍式口嚙を白

源澄式アヲを

こ 同 一

小箱を白

下鞆

江 同 一

坐を前後後を

箱三ツ

て 同 一

鏡七か子端を

あ 同 一

鞍二口嚙を白

さ 同 一

箱括式を白

急香炉式

う襦の袖を云袖を

こ 同 一

こ道見入

各硯瓶を

ゆ 同 一

白を白

大串の御書物天字 勅字 巻

筆子室物 白を箱

子の端を鏡を白

こぬくはし ちち

女長持一 鞍式口佛其巻一

み同 耳草 六本

斗鉢五本 巾一

肉掛之袋 石振 葉四

焼物之 壺式

一同 焼物之 壺之

唐織之 翠翹袋之

茶式 袋箱 之蓋 之蓋

点同 唐布 之蓋

縮之 之蓋 之蓋

乙同 黒染之 筒式

小箱口 唐紙式

も同 之蓋 之蓋

世同 法之 之蓋

箱式 巾之 之蓋

香居を

す 同 一 板ニ仙リ多ク物ニ湯付付五二

笠を湯右刀ノ羅ノ振

翠羽也ニ面

一 同 一 大紅沉 長聖人守累ノ和口
女ニ同リ何レ白ク楚ク
守ニ系中口切りキホ
そノ大守切レホニ一

二 同 一 小ニ五レ三ノ

麻角拾六段を

蘭奢待

長曲尺ニ五尺守
系中口山とキ
四尺ニ守裏口五尺
守中分中守中
分中守中とあり

柴垣貳 木 貳 本

湯リと張 但人形ニ法

多ク和ク上法 貳 物

湯 弊 大小ノ取付

七拾八 三ノ守中八拾

右山古物東大守ノ取付理守中守
分南口花和キ又南口花有キ
指力守中口花及日小花和キ

中之水鏡下段

三 長持 款控方之内

三ツ 符を切置し

款控三 符同首通五

中之水鏡二階

四 長持一 色々々款控五

五 同 鴨毛扇風 五款

六 同 一 銀燵南 款心

七 同 一 卷之紳 部ツ

七 同 一 面 控三

板松控三打付立之

八 同 一 銀燵之控南 款心

同神を同院 其面

九 長持一 多々古幕布五

十 同 一 多々錦幕布五

い 同 一 多々古幕布五

花之鏡 此心

乃 同 一 多々茶五

は 同 一 多々神 多々心

多々古幕布五

に 同 一 多々布幕布五

面五

は 同 一 花鏡 羅九

多々古幕布五

へ 長持一 縮幕布五

と 小長持一 翠弓 其面

御弓 其張

ち 長持一 御經入五

日 一 布古幕 入五
 日 一 縮古幕 入五
 日 一 色之茶 入五
 在 同 一 色之茶 入五
 水 明物 但是 入五
 加 同 一 拾九

正倉院御開封之次第

一番寺僧南北裏頭立

西上首

但今度度元北ノ方度元假屋立此内

兩堂末寺方度元卷出仕

次勅使假屋御着座

次三廻假屋出仕

小廻六堂公人召足
今度大佛師ツル

次勅使假屋江寺務ヨリ候人候元

兩使ニテ鎰持衆ニテ勅使江渡渡元

但今度坊官一人念佛堂僧鎰箱ヲ
持ス行泉

次三廻 勅使、假屋、行、鎰請

取鎰箱ヲ 公人持セ 假屋ノ 飯座

但ハ 小廻一人 六堂二廻 一人 召ツ 上江 登リ 路ヲ 踏ミ 鎰箱ノ蓋ヲ 明勅使掛御目ニカケテ 勅使假屋ノ 行ハ 鎰請取小廻 渡テ 小廻又六堂二廻 渡ハ 假屋ノ 飯座

後鎰箱ヲ 小廻取テ 三廻坐テ 九五

次鍛冶大工横木ヲ 打ハナス

但コ、ニテハ 鍛冶ハ不入カ 大工横木ヲ 三ツナカラ打ハナシ飯坐

次伶人奉幣

但中之所倉ノ御前奉幣以 後 楷上リ 御戸口ニ 立垂 楷下テ 又

鎮守蔵王御前ニ 幣白事終テ 後祢宜楷上ノ 両方ノ幣白ヲ 取テ 飯是ハ祢宜ノ宿取ニ 飯也

次六堂一廻宝蔵、御戸開ト

三度 但三廻ヨリシリ鎰ヲ 小廻取テ 渡ス 其鎰ヲ 手ニ

捧上テ 一聲ニ 礼ツ 宝蔵ノ御戸開ト タカクト 唱終テ 又ハ 小廻ヲ 鎰ヲ 三廻ニ 飯ス

次三廻楷ヲ 登 勅封ヲ 切ハ 小廻渡ス

此時午水立之也 小廻請取金 扇子ニ 裁 勅使

之假屋持衆^{シテ} 勅使江御

封^ヲ渡^ス 勅使無異儀云々

三綱^ハ總^ヲ呂^ツッ^シ坐^ヲ立^テ楷^上ル

先中ノ倉^ノ御封^ヲ切^テ懷中^ノ

又^ハ倉^ノ御封^ヲ切^テ同懷中^ノ

南^ノ總^取ノ倉^ノ封^ヲ切^テ後見^念

勅封^ニツ^同事^中ト^北ト^カ

勅封^ト云^南ハ^寺務^ノ御封^ト云

先^勅封^ヲ小^總渡^シ勅使^江捧

勅使先帝^御封^ト御返^事有

之^又寺^務ノ御封^ハ世^後見

以^小總^ヲ渡^其内^ニ假屋^飯座

魚^目ニ^イッ^シノ御倉^ヨリ^可用

ヤ^由以^世後^見相^尋イ^ッシ

ヨリ成^トモ 勅使^ノ依^作可^用

六堂先^ニ立^一簡^梅枝^ヲ

持^二簡^鎰箱^ヲ持^三簡^四簡

沈^明ヲ持^小總^并三^簡以下^ハ

楷^下ニ^床本^ニ腰^掛三^總

并^一簡^二簡^ハ楷^上ル^鎰

箱^ノフ^タヲ^明テ^二簡

鎰^ヲ云^總進^ム三^總

鎰^ヲ合^ス鎖^アカ^サル^時

皮^鉞治^ヲ呼^テ鎖^ヲ

ハ^十廿^廿セ^日乃^其鉞^治前

カ^トヨ^リ楷^ノ下^ノ名^也

次^ニ三^綱ヲ^リ鎰^ヲ合^御戸^閉

此時御戸大^ニヨ^リ御書^臺呼^御戸

朝アケサセヨ大ニ下シテ後

其時沈明并サ荒屠ヲ
持以テ残古堂楷ヲ登
御戸ノ口、其荒屠ヲ掛
内、敷之御前并鎰箱兩人
先入次沈明次之纒末六堂
左右ニ入ル

次寺僧一朧二朧楷上緑

御戸ノ兩眼出仕内入夏

不叶 三纒内江入ラントスルヲ
見テ楷ヲ登ル

次三綱以目錄御宝物取出

公人寺務坊江持衆六堂

一朧梅枝ニテ 三ナキシイ

ラスル寺僧五六人奉行

御宝物御出前寺僧

一朧二朧楷下 本ノ取飯吐

次三綱御戸閉口鎖ヲ

口ノ鎰ヲ公人持

次勅使并三綱假屋ヲ立

寺務坊行 天子公方江

蘭奢待少し御切有之矣

但寺務坊ニテ御道具御改
之時ハ一々三總御横ヨリ取
出し勅使路使江掛御目作
勺端御道具入り間ハ芒蓆ヲ
敷三總取出ステツタイニ堂
余人更ニキフル事無之

次御宝物御納之夏翌日

有之一夜御倉之番キヒ

シカレキ事_ト假屋御倉_ト

ノ間カリ可有之寺ヨリ

ト公儀ヨリトノ番之當

日御宝物納ラハ無其儀也

此度ハ公儀ヨリノ番之

右之雜用下行物皆以公方

ヨリ_ハ御沙汰也御閑封事

早後假屋縁板以下三總取_ハ

渡_ル下行物日記別紙有之

寛正六年九月廿四日

正宝院寛家法橋

茶師院快実寺主

年頓五師大東隆宴

右、寛正六年酉九月廿四日室町殿

御成敗正宝院寛家法橋

茶師院快実寺主旧記写之

七書、寛文六三月四日御用封

二付、正宝院法橋実宣今案



